



平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成26年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	25,943	△1.6	318	△41.4	264	△29.5	137	△18.3
25年10月期第3四半期	26,360	5.4	543	△4.5	375	△21.8	168	173.4

(注) 包括利益 26年10月期第3四半期 138百万円 (△19.9%) 25年10月期第3四半期 172百万円 (155.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第3四半期	11.46	11.40
25年10月期第3四半期	14.02	13.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年10月期第3四半期	25,265	7,478	29.4	619.13
25年10月期	24,740	7,532	30.2	622.42

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期 7,432百万円 25年10月期 7,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年10月期	—	7.50	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	10.7	1,090	126.0	1,020	236.1	560	385.1	46.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期3Q	12,688,000 株	25年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	26年10月期3Q	683,545 株	25年10月期	683,545 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期3Q	12,004,455 株	25年10月期3Q	12,001,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年11月1日～平成26年7月31日)におけるわが国経済は、企業の業況感の改善等により設備投資や生産、雇用が回復傾向にあるものの、個人消費については、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が一部にみられるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。このような経営環境の中、当社グループは本や映画、音楽やゲームを通じて新たな発見や感動と出会う「日常的エンターテインメントのご提供」をコンセプトに、魅力的な店舗づくりを進めてまいりました。

当社の大型複合店舗は、3,000㎡を越す広い売場面積に、さまざまなカテゴリーの商品を取り揃え、書籍を入り口としてお客さまを新たな体験へといざなう、「ライフスタイル提案の場」を目指しております。昨年11月に埼玉県本庄市に出店いたしました「蔦屋書店本庄早稲田店」では、生活シーンごとにテーマを設定し、書籍や関連アイテムを同一の売り場で展開するという、新たな試みを取り入れました。一方、本年6月に埼玉県東松山市に出店した「蔦屋書店東松山店」では、店舗中央を貫く広大な雑誌売場「夢のマガジンストリート」を中核に据え、そこから関連する専門書へ、さらには関連するアイテムへと売場が展開するレイアウトを試みております。既存店におきましても、カフェの導入をはじめとして大小さまざまな規模の改装を実施し、お客様が当社の店舗に期待する価値を上回るよう努めてまいりました。ネット通販との競合が避けられない現在、当社は「五感で楽しむ心地よい買物体験」こそが、リアル店舗でご提供すべき価値と捉え、そのあるべき形を追及してまいります。

一方、音楽・映像レンタルを主力とする小型店舗につきましては、店舗コンセプトが当社の目指す戦略と乖離してきたため、4月から5月にかけて6店舗を譲渡いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間末のグループ合計店舗数は72店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,943百万円(前年同期比98.4%)、営業利益318百万円(前年同期比58.6%)、経常利益264百万円(前年同期比70.5%)、四半期純利益137百万円(前年同期比81.7%)となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店事業において、書籍の売上が伸長し、前年同期比102.8%となりましたが、レンタル、文具、CD・DVD販売の各部門で売上高が前年同期を下回ったため、同事業の売上高前年同期比は98.5%(既存店96.9%)となりました。なお、当社は大型店への経営資源の集中と効率化を図るため、レンタル専門店6店舗を譲渡しております。これによる売上に与える影響は軽微であります。

利益面につきましては、仕入原価の見直しに取り組んだ結果、連結売上総利益率は前年同期比0.3ポイント改善し、32.1%となりましたが、売上高の減少により売上総利益は前年同期比99.2%にとどまりました。また、大型店の出店に伴って設備費や人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加し、連結実績で前年同期比102.1%となりました。その結果、営業利益は前年同期比58.6%の318百万円、経常利益は前年同期比70.5%の264百万円、四半期純利益は前年同期比81.7%の137百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,312百万円(前年同期比98.5%)、セグ

メント利益は284百万円（前年同期比57.0%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍102.8%（既存店99.7%）、文具99.6%（既存店96.8%）、レンタル85.8%（既存店88.7%）、販売用CD 84.2%（既存店83.1%）、販売用DVD 93.2%（既存店92.2%）となりました。書籍は、前年度の新店・増床店が通期で寄与したほか、期初に出店した新店も売上増に貢献しました。文具は、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えが売りに貢献いたしましたが、特売商品の一部で消化率が伸び悩みました。レンタルは、前年同期と比較して新作・話題作の商品力が及ばずに伸び悩みました。販売用CD・DVDは、市場全体の縮小傾向が続いていることと、大型タイトルの不在が影響いたしました。

②その他

当セグメントの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高635百万円（前年同期比94.3%）、セグメント損益は18百万円の損失（前年同期比1.5百万円損失増）となりました。

中古買取販売事業は、売上高前年同期比90.2%となりました。一方、スポーツ関連事業は、売上高前年同期比108.9%となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末比525百万円増加し、25,265百万円となりました。これは主に、新規出店等に伴い商品が774百万円、建物が338百万円、リース資産が410百万円それぞれ増加した一方、長期前払費用が955百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比578百万円増加し、17,786百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,572百万円、リース債務が374百万円、それぞれ増加した一方、設備未払金、長期未払金の合計657百万円、短期借入金が999百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比53百万円減少し、7,478百万円となりました。これは主に、利益剰余金が42百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、利益の水準が期初の予想を下回りましたが、小型店6店舗の営業譲渡により、経営資源をより戦略的に配分できることや、6月に開店した蔦屋書店東松山店（埼玉県東松山市）の寄与などにより、期初予想の達成は可能と考えております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	919,312	683,253
売掛金	185,467	661,564
商品	8,691,637	9,466,557
前払費用	302,575	317,210
繰延税金資産	55,225	28,481
未収入金	249,296	176,309
その他	55,430	47,417
貸倒引当金	△268	△267
流動資産合計	10,458,677	11,380,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,799,189	3,120,923
土地	1,487,798	1,487,798
リース資産(純額)	3,604,895	4,015,714
その他(純額)	56,084	49,904
有形固定資産合計	7,947,967	8,674,340
無形固定資産		
のれん	67,401	13,284
その他	44,251	50,204
無形固定資産合計	111,653	63,488
投資その他の資産		
繰延税金資産	245,322	238,241
敷金及び保証金	3,844,337	3,720,219
その他	2,133,574	1,189,745
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,221,814	5,146,786
固定資産合計	14,281,435	13,884,615
資産合計	24,740,112	25,265,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,864,302	3,829,574
短期借入金	2,545,040	1,545,750
1年内返済予定の長期借入金	1,136,092	1,380,432
リース債務	547,360	628,450
未払法人税等	57,648	63,680
賞与引当金	70,000	18,000
未払金	478,721	441,171
その他	1,032,118	787,691
流動負債合計	9,731,282	8,694,751
固定負債		
長期借入金	3,200,351	4,772,678
リース債務	3,232,735	3,525,803
資産除去債務	432,888	463,895
退職給付引当金	100,827	94,586
役員退職慰労引当金	68,278	68,278
長期未払金	327,831	59,002
長期預り敷金保証金	113,686	107,293
固定負債合計	7,476,599	9,091,538
負債合計	17,207,881	17,786,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,475,496	3,432,968
自己株式	△305,814	△305,814
株主資本合計	7,480,743	7,438,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,943	△5,948
その他の包括利益累計額合計	△8,943	△5,948
新株予約権	32,832	21,338
少数株主持分	27,598	25,247
純資産合計	7,532,230	7,478,851
負債純資産合計	24,740,112	25,265,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	26,360,959	25,943,793
売上原価	17,974,152	17,620,197
売上総利益	8,386,807	8,323,595
販売費及び一般管理費	7,843,669	8,005,342
営業利益	543,137	318,252
営業外収益		
受取利息	22,571	20,522
原子力立地給付金	11,344	11,741
助成金収入	3,090	11,767
その他	47,557	25,616
営業外収益合計	84,563	69,647
営業外費用		
持分法による投資損失	125,609	—
支払利息	126,395	122,913
営業外費用合計	252,005	122,913
経常利益	375,696	264,987
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35,000
新株予約権戻入益	—	11,494
特別利益合計	—	46,494
特別損失		
固定資産売却損	60,081	—
特別損失合計	60,081	—
税金等調整前四半期純利益	315,614	311,481
法人税、住民税及び事業税	191,581	144,107
法人税等調整額	△45,708	32,186
法人税等合計	145,873	176,294
少数株主損益調整前四半期純利益	169,741	135,187
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,490	△2,351
四半期純利益	168,250	137,538

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169,741	135,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,768	2,994
その他の包括利益合計	2,768	2,994
四半期包括利益	172,509	138,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,018	140,533
少数株主に係る四半期包括利益	1,490	△2,351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,690,591	670,367	26,360,959	—	26,360,959
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,551	2,853	7,405	△7,405	—
計	25,695,143	673,221	26,368,364	△7,405	26,360,959
セグメント利益又は損失(△)	498,445	△16,552	481,892	61,245	543,137

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,312,027	631,765	25,943,793	—	25,943,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,267	3,267	△3,267	—
計	25,312,027	635,033	25,947,061	△3,267	25,943,793
セグメント利益又は損失(△)	284,070	△18,062	266,007	52,245	318,252

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

区 分		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)		
		売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
蔦屋書店事業	書籍	12,352,959	47.6	102.8
	レンタル	4,470,684	17.2	85.8
	文具	2,346,147	9.1	99.6
	販売用CD	1,721,347	6.6	84.2
	販売用DVD	1,195,700	4.6	93.2
	ゲーム	976,621	3.8	92.8
	リサイクル	247,691	1.0	112.5
	その他	2,000,874	7.7	132.1
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
	計	25,312,027	97.6	98.5
その他	外部顧客に対する売上高	631,765	2.4	94.2
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,267	0.0	114.5
	計	635,033	2.4	94.3
合計		25,947,061	100.0	98.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。
 3 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、ブランクメディア、図書カード、中古品、賃貸不動産収入等であります。